

# 金沢市で「IoT時代における電波利用の先進技術と安全性に関する説明会」を開催

北陸総合通信局長 山田 和晴(やまだ かずはる)は、平成31年3月5日(火)に金沢市文化ホール(石川県金沢市)において、教育関係者、通信関係事業者、交通機関関係者及び電波の安全性に関して関心のある方々を対象として、電波利用の先進技術、電波の安全性や健康への影響などを理解して頂く説明会を開催し、約100名の参加がありました。

開会にあたり、山田局長から「情報通信の要となる電波は、限られた周波数資源の中でより速く、より大量の情報が送れるよう、日夜、新しい技術の開発が進められている。一方で、電波の人体への影響など安全性に関しても日々研究が進められており、2020年にサービスが開始される5Gに係る防護指針についても、新たな基準が策定されつつある。本説明会が普段から使用しているスマホなどの身近な無線設備、更にはIoT技術や5Gなどの電波利用の理解とともに、ひいては北陸地域の発展に寄与することを祈念する。」と挨拶しました。

北陸総合通信局では、引き続き、5Gなど新世代の情報通信技術の中核として、持続可能な地域社会の構築の実現を目指した取り組みを強化するとともに、電波の安全性について正しい知識の普及と理解を深めるための説明会を開催していきます。



総務省北陸総合通信局長  
山田 和晴

## 講演 I

北陸総合通信局 無線通信部長 大石 通明(おおいし みちあき)から、電波の使われ方、注目されている新たな技術等に電波を利用している事例とともに、電波利用の安全基準である電波防護指針に関する総務省の取り組みなどを紹介しました。



総務省北陸総合通信局  
無線通信部長 大石 通明

## 講演 II

株式会社NTTドコモ先進技術研究所 主任研究員 大西 輝夫(おおにし てるお)氏から、「社会に広く浸透するワイヤレス技術と安全性への取り組みについて」と題して、第5世代移动通信システム(5G)やIoTなど進化するワイヤレス技術の特徴やサービスのイメージを紹介されるとともに携帯電話の進化やつながる仕組み及び災害対策について分かりやすく解説されるとともに、加えて自社における電波の安全性への取り組みについて講演されました。



(株)NTTドコモ先進技術研究所  
主任研究員 大西 輝夫 氏

## 講演 III

北海道大学 名誉教授 野島 俊雄(のじま としお)氏から、「電波の生体影響と防護指針について」と題して、電波や電磁波の歴史や基本的性質を解説されるとともに携帯電話など身の回りで利用されている電波について、生体を与える影響の観点から安心・安全の基本的な考え方と、最新の科学に基づく研究の結果について講演されました。



北海道大学  
名誉教授 野島 俊雄 氏